

## 地方創生関係交付金実施状況報告書

## 地方創生関係交付金の概要

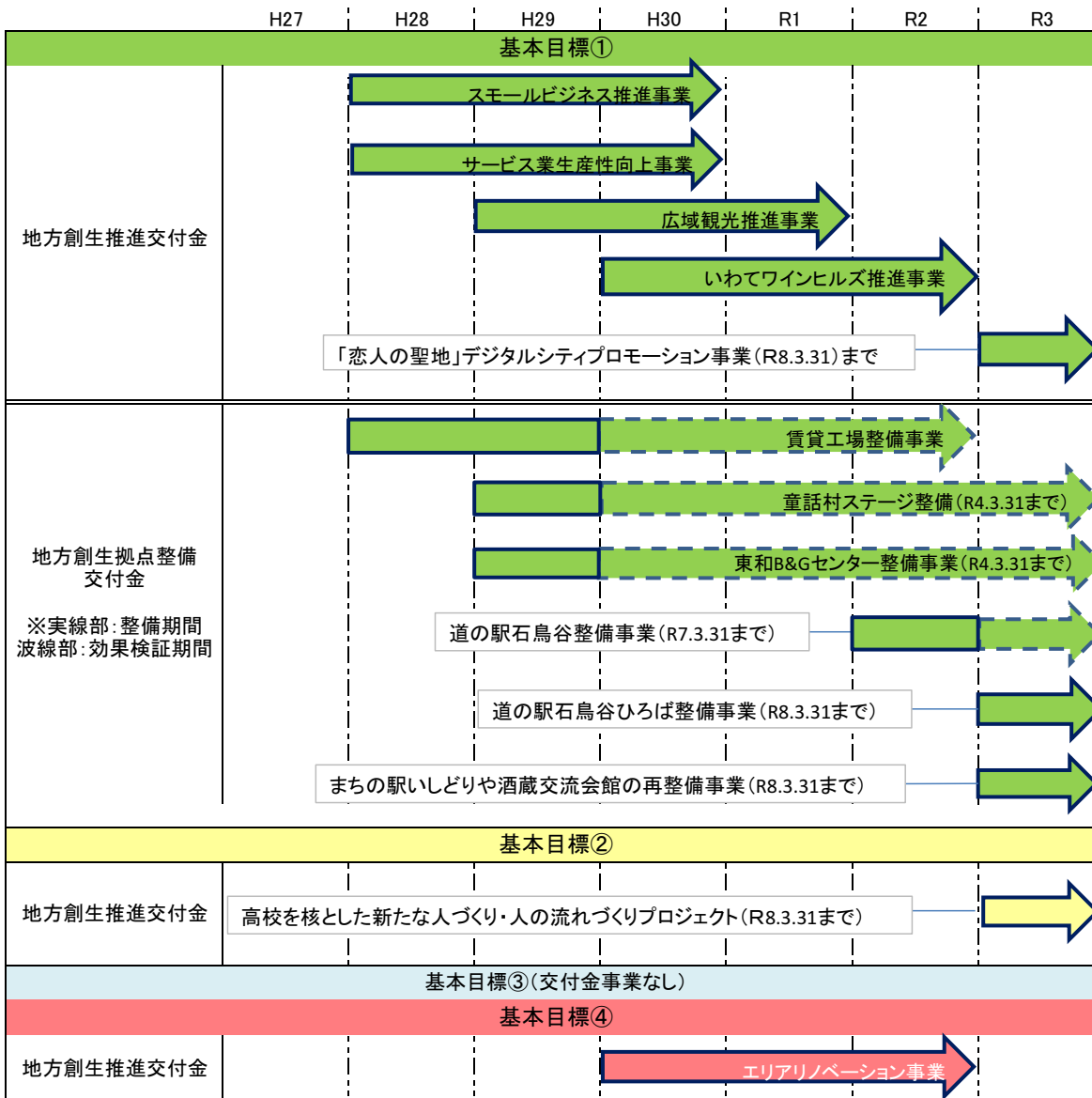
- 自治体の**自主的・主体的**な取組で、**先導的**なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクル**を組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援

(単位: 億円) <>内は事業費ベース

地方公共団体の 事業執行年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
地方創生 推進交付金		H28当初 1,000 <2,000>	H29当初 1,000 <2,000>	H30当初 1,000 <2,000>	R元当初 1,000 <2,000>	R2当初 1,000 <2,000>	R3当初 1,000 <2,000>
地方創生 拠点整備交付金			H28補正 900 <1,800>	H29補正 600 <1,200>	H30補正 600 <1,200>	R元補正 600 <1,200>  R2当初 <sup>(※)</sup> 30 <60>	R2補正 500 <1,000>  R3当初 <sup>(※)</sup> 50 <100>
地方創生 加速化交付金		H27補正 1,000				( <sup>※</sup> 地方創生推進交付金1,000億円の内数)	
地方創生 先行型交付金	H26補正 1,700						



### ○花巻市における地方創生関係交付金の活用状況(令和3年度まで)



# 花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI)の 達成度評価基準

## 1. 指標値に対する実績値の算出方法

$$\text{達成率(\%)} = \text{実績値} \div \text{目標値} \times 100$$

※小数点第一位を四捨五入願います。

## 2. 達成率の判定区分

a・・・100%以上    b・・・90%以上100%未満    c・・・90%未満

## 3. 達成度の判定

【A 達成できた】・・・KPIの達成率がすべて「a」

【B 概ね達成できた】・・・KPIの達成率の半数以上が「a」か「b」

【C やや達成できなかった】・・・KPIの達成率の半数未満が「a」か「b」

【D 達成できなかった】・・・KPIの達成率のすべてが「c」

No.	①交付金の種類	②交付対象事業の名称	③事業内容	④令和3年度事業実績	⑤令和3年度事業費実績(円)	⑥本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑦R3実績値	達成率(自動入力)	判定(自動入力)	⑧達成度	⑨実績値の達成・未達成要因	⑩事業の評価	担当課	
						指標	指標値	目標値	単位	目標年月								
1	拠点整備	中心商店街の賑わいづくり拠点「まちな駅いしどりや酒蔵交流会館」の再整備	<p><b>(背景)</b> まちな駅いしどりや酒蔵交流会館は廃業した企業の土蔵2棟を改修してきたものだが、従来、2棟とも出入口が1か所であったことや、蔵の外と中、内部の床でも段差があることから、利用者が移動しづらい環境にあった。また、倉庫がなく、イベントの際に都度什器等を搬入しなければならないことも含めて、利用者から改修を望む声があがっていた。また、感染症対策に配慮する上では、出入口が1か所であることも使用の上で難がある。 地域の拠点として機能を向上させるためには、これらの施設の現状を解消する必要がある。</p> <p><b>(事業の目的)</b> 地域住民だけでなく広く市民が訪れ、利用したい施設として再整備し、商店街や住民が主体となって屋内外での新たなイベント等の創出を図ることで、人とモノの交流を核とした地域の拠点づくりと商店街の売上げ向上への波及を促進する。</p> <p><b>(事業概要)</b> 石鳥谷地域は古くから「南部杜氏の里」としてまちおこしを行ってきたこと、町内の公共施設や街灯などを蔵風として整備してきたことから、再整備する施設については、蔵の趣は保ちながら、ミニキッチンと倉庫を備え多目的に使用可能なホールを建築する。</p> <p><b>(具体的な取組)</b> 酒蔵交流会館(土蔵2棟)を解体し、同じ場所に土蔵をイメージした外観の施設1棟を建築する。</p>	<p>①再整備工事設計業務委託 新たに建築する建物の工事設計業務及び工事管理業務の委託を行った。</p> <p>②まちな駅酒蔵交流会館再整備工事 既存建物を解体及び新たな建物の再整備(新築)を行った。</p>	<p>合計 73,810,000/うち対象 58,896,000 ① 5,412,000/うち対象 5,412,000 ② 68,398,000/うち対象 53,484,000</p>	指標①	酒蔵交流会館を会場としたイベント売上高	0	0	千円	R8.3.31	0	100%	a	A	当該施設の使用を休止し、解体及び再整備を行ったため。	<p><b>(事業実施結果)</b> まちな駅酒蔵交流会館の再整備を実施。</p> <p><b>(成果)</b> 既存建物の解体/土蔵造・二階建/287.31㎡ ・新たな建物の再整備(新築)/木造・平屋/168.10㎡</p> <p><b>(課題・今後の方向性)</b> 再整備後の酒蔵交流会館の利活用により、商店街や住民が主体となって屋内外での新たなイベント等の創出を図ることや、人とモノの交流を核とした地域の拠点づくりと地元商店街の振興を目指し、指定管理による酒蔵交流会館の利活用も視野に入れ地域団体等とともに検討していく。</p>	石鳥谷総合支所地域振興課
						指標②	酒蔵交流会館の来場者数	33,000	0	人	R8.3.31	0	100%	a		当該施設の使用を休止し、解体及び再整備を行ったため。		
						指標③	酒蔵交流会館の年間利用回数	130	0	回	R8.3.31	0	100%	a		当該施設の使用を休止し、解体及び再整備を行ったため。		
2	拠点整備	地場産品の発信拠点、防災拠点、憩い・集い・賑わいの拠点としての「(仮称)道の駅『石鳥谷』交流ひろば」の整備	<p><b>(背景)</b> 道の駅構内の休憩環境の向上への意見として、「無料で休める場所がほしい」、「外でコーヒーが飲める」などの休憩スペースを望む意見や、「市民交流スペースの設置」、「地元の人、子ども、海外の人が交流する」など、世代や立場を超えて交流を望む声があがっているほか、花巻市地域防災計画(平成27年7月策定)において、「物資集積・輸送拠点」に指定されたこと、また、令和2年1月には国土交通省と本市で「道の駅『石鳥谷』の防災利用及び相互支援に関する協定書」を締結したことを機として、災害発生時の拠点として適切な対処が求められている。</p> <p><b>(事業の目的)</b> 国土交通省と協働し、再編整備を進めている道の駅「石鳥谷」内に、三方を施設に囲まれ、一方を前面道路の国道4号や道の駅駐車場に向けた「(仮称)道の駅『石鳥谷』交流ひろば」(以下、「広場」)を新設することにより、道の駅構内の施設の回遊性を高めるとともに、広場における地域イベントの開催や出店・キッチンカーによる地場産品・加工品の販売の場と、かまどベンチを整備し、広場を市内・県内の地場産品・加工品などの発信拠点、防災拠点として位置づけ、市民・道路利用者・観光客の憩い・集い・賑わいの拠点を形成する。</p> <p><b>(事業概要)</b> 令和2年度に曳家工事を実施した南部杜氏伝承館や既存の酒匠館、りんどう亭大食堂をはじめとする三方の施設に囲まれた中心部に、19.35×18.75=362.8平方メートルの芝生広場を整備するとともに、酒匠館側面に新たに出入口を設置するものである。芝生広場は施設正面である道路側から大きく見えるよう整備し、開放感ある空間として醸し出すとともに、酒匠館側面の出入口は、広場を囲む各施設から直接踏み入れることができるよう設置し、各施設間の視認性や回遊性を高め、子ども連、親子連れ、観光客、道路利用者などが「憩う(休憩する)」、「集う(集まる、滞在する)」、「にぎわう」ことができる空間として整備するものである。また、道の駅「石鳥谷」は災害時の拠点施設となることから、国土交通省が整備する防災倉庫と連携し、芝生広場には災害時に炊き出し作業が行える「かまどベンチ」を設置するもの。</p> <p><b>(具体的な取組)</b> ・広場工事(令和3年度、令和4年度) ・酒匠館出入口新設(令和3年度) ・かまどベンチの設置(令和4年度)</p>	<p>①道の駅「石鳥谷」広場整備工事 芝生広場に当たる区画(362.8㎡)の整備を行った。令和4年度には芝生広場への芝生種子の散布及び広場周辺の舗装工事を実施する。</p> <p>②酒匠館内装等改修工事(出入口新設含む) 酒匠館内装等改修工事に併せ、酒匠館北側に出入口(風除室)を新設した。</p>	<p>合計 73,363,400/うち対象 32,109,520 ① 21,949,400/うち対象 21,949,400 ② 51,414,000/うち対象 10,160,120</p>	指標①	広場の利用者数	0	0	人	R8.3.31	0	100%	a	B	令和3・4年度の2箇年で整備する計画であり、令和3年度は盛土や排水側溝設置など造成工事を実施したほか、広場の利便性や機能性を補完するため、整備範囲を拡張し北側の通路も一体的に整備した。令和4年度は広場中心部への芝生の植生と広場の舗装、照明設備やかまどベンチを設置する予定。	<p><b>(事業実施結果)</b> ・芝生広場(区画)整備及び酒匠館出入口(風除室)新設。</p> <p><b>(成果)</b> ・芝生広場(区画)362.8㎡ ・酒匠館出入口(風除室)新設/鉄骨造・平屋/9.8㎡</p> <p><b>(課題・今後の方向性)</b> ・広場整備等により、課題であった「視認性及び回遊性の向上」、「道の駅構内の休憩環境の向上」、「防災機能の充実」が図られ、これにより広場の利用者数が増加する見込みであるため、酒匠館・りんどう亭の指定管理者である㈱石鳥谷観光物産へ広場を活用した物販業者の招致やイベントの企画・運営を促していく。</p>	石鳥谷総合支所地域振興課
						指標②	広場における出店の売上高	0	0	千円	R8.3.31	0	100%	a		令和3・4年度の2箇年で整備する計画であり、令和3年度は盛土や排水側溝設置など造成工事を実施したほか、広場の利便性や機能性を補完するため、整備範囲を拡張し北側の通路も一体的に整備した。令和4年度は広場中心部への芝生の植生と広場の舗装、照明設備やかまどベンチを設置する予定。		
						指標③	石鳥谷地域内のイベント観光客入込数	77,000	77,100	人	R8.3.31	0	0%	c		新型コロナウイルス感染症対策として、地域内のイベントが全て開催中止となったため。		

No.	① 交付金の種類	② 交付対象事業の名称	③ 事業内容	④令和3年度事業実績	⑤令和3年度 事業費実績(円)	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑦R3 実績値	達成率 (自動 入力)	判定 (自動 入力)	⑧達成度	⑨実績値の達成・未 達成要因	⑩事業の評価	担当課	
						指標	指標値	目標値	単位	目標年月								
3	推進	「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタルシテプロモーション事業 【全国18自治体との共同連携事業】	<p>(背景) 各市町村の少子高齢化、東京一極集中による人口減少に歯止めがかからず、地域の衰退が懸念されており、さらに、2020年に入り新型コロナウイルス感染症拡大により、社会状況は大きく変化し、新しい生活様式に対応した施策が各市町村に求められている。</p> <p>(事業の目的) 恋人の聖地を有する市町村において、新しい生活様式に対応した効果的なシテプロモーションにより、地域の魅力を全国、特に東京をはじめとする大都市圏に向け発信するとともに、市町村域の地域資源を魅力あるものに磨き上げることにより、観光振興による交流人口の増加に加え、関係人口の増加を図り、移住・定住による地方への人の流れを生み出す。</p> <p>(事業概要) シテプロモーションを共通のテーマとして、広域連携によるデジタル・シテプロモーションによる地方創生事業に賛同する18市町村が連携し、次の事業を実施する。 (1-1)広域市町村連携シテプロモーション事業(SNS等の活用のためのポータルサイト等の基盤整備事業) (1-2)各市町村の連携シテプロモーション事業 (2)地域産業拡大事業 (3)情報ネットワーク・地域活性化事業 (4)市町村のブランド強化・収益構築のハード事業</p> <p>(具体的な取組) (1-1)・18市町村が共同活用できるプラットフォーム、SNS、共同制作物等を整備する。 ・YouTubeチャンネル、SNS等の開設、ポータルサイトの開設 (1-2)参画市町村は独自のシテプロモーションを実施し、18市町村が連携を図る。 (2)各市町村域(農林水産・観光)のデジタル情報価値(バリエーション・魅力)を高めるとともに、ソフト系コンテンツを開発する。各市町村がモニュメント整備、回遊プラン整備、イベント等を通して恋人の聖地をはじめとする地域の魅力を向上させる。 (3)デジタル・シテプロモーション事業部会設立による市町村間の実施事業の共有、連携プロモーション等の実施とともに、各地域において事業者・市民・学生も巻き込んだ「地方創生」を実現するための啓発事業を実施する。</p>	花巻市の実績	1,548,272	指標①	観光客入込数	7,740,000	10,066,000	人	R8.3.31	10,067,000	100%	a	<p>(参画している全国の指標であるため評価せず) 参考：花巻市 1,098,665人</p> <p>○成果 新型コロナウイルス感染症の影響により、誘客を期待していた特別企画をPRする機会が失われたものの、東北DC公式サイトに多くの観光素材を掲載することで情報発信に努めた結果、令和2年度の観光客入込数を上回る結果となった。</p> <p>共同プラットフォームについては花巻市においては、特産品を紹介したYouTube動画、花巻市の紹介動画、風景をインスタグラムに投稿する等を実施できた。</p> <p>○課題・今後の方向性 令和4年7月から9月にかけて開催されるJR東日本主催の大型観光キャンペーン(アフターDC)に向け、東北DCのレガシーを活用した特別企画をPRすることで、誘客促進を図る。 共同プラットフォームについてはインフルエンサーの活用による動画撮影を翌年度も実施しプラットフォームの充実を図る。</p>	観光課		
						指標②	ポータルプラットフォームへの投稿数	0	810	件	R8.3.31	2,138	264%	a			A	<p>(参画している全国の指標であるため評価せず) 参考：花巻市 39件</p>
						指標③	メディア掲載数	0	324	件	R8.3.31	357	110%	a				<p>(参画している全国の指標であるため評価せず) 参考：花巻市 5件</p>
4	推進	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト 【全国57自治体との共同連携事業】	<p>(背景) 地方創生の実現に対しては、教育現場における地方創生視点の欠如、教育は学校内で完結するという固定観念、学校設置者が異なる校種の壁、児童・生徒の減少による弊害、民間活力の活用を前提としない学校運営・経営の実態がありそれぞれの課題に対して取り組んでいく必要がある。</p> <p>(事業の目的) 中学卒業段階で地方への高校進学を当たり前にする(事業概要) ①地方の魅力ある教育環境を全国の先駆的な自治体と一体となって都市部へ届けることで地域の高校留学という選択肢をつくる ②高校と地域の協働により魅力ある教育環境をつくる ③高校卒業生が地域と関わり続ける仕組みをつくる ④共学共創により全国へスケールアウトさせる</p> <p>(花巻市具体的な取組) ①について ・地域の魅力ある教育環境や受け入れ体制について都市部等へプロモーションを展開 ・都市部等へ中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」を開催 ・都市部等の中学生親子を対象にした各高校での学校説明会・個別説明会の実施 ②について ・地域・学校・行政が連携し地域外生徒を受入れる体制を整備 市町村の交流・研修施設等の地域資源を最大限に活用した寮の運営 地域外生徒が生徒に適切できるように指導員等の配置により受け入れ態勢を整備</p>	○岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業 ・高校生おおはさま留学生受け入れ業務 留学生 2名(継続2) ・都市部等の中学校へ大迫高校の魅力発信 生徒募集等のDM送付 326通 ・留学生生活支援員 4名 ・高校生おおはさま留学生募集チラシ作成 1,000枚 ・地域みらい留学事業参加 ○地域みらい留学2021オンライン学校個別説明会 ・参加者数 延べ10人	<p>・高校生おおはさま留学生受け入れ業務 4,339,500円 ・留学生生活支援員謝礼 143,500円 ・高校生おおはさま留学生募集チラシ作成 143,000円 ・地域みらい留学事業参加負担金 880,000円</p>	指標①	「高校を核とした関係人口」の数(=地域みらい留学生数+卒業後も地元に関わった大学生・社会人数+地域外からの高校への応援者数)	2,360	2,560	人	R8.3.31	3,948	154%	a	<p>(全国の指標であるため評価せず) 参考：花巻市留学生数 2人</p> <p>(全国の指標であるため評価せず) 参考：花巻市においてオンラインによる学校個別説明会参加者10名</p> <p>(全国の指標であるため評価せず) ※花巻市においては当該事業は実施していない。</p> <p>(全国の指標であるため評価せず) ※花巻市においては当該事業は実施していない。</p>	<p>(成果) 新たな高校生おおはさま留学生の受け入れは無かったが、高校生おおはさま留学生への支援を行うとともに、大迫高校の生徒確保が図られた。</p> <p>(課題・今後の方向性) 大迫高校で学ぶ魅力を花巻地域や市外、県外に広めることにより、新入学者を確保するため、地域みらい留学事業に参加し高校生おおはさま留学生の募集や周知を図り、全国に大迫高校の魅力を発信する。</p>	大迫地域振興課	
						指標②	「都市部での地方高校全国説明会」参加者数	2,093	2,293	人	R8.3.31	4,004	175%	a				A
						指標③	「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数	292	322	件	R8.4.1	773	240%	a				
						指標④	「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数	55	60	団体	R8.3.31	78	130%	a				

No.	①交付金の種類	②交付対象事業の名称	③事業内容	④令和3年度事業実績	⑤令和3年度事業費実績(円)	⑥本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑦R3実績値	達成率(自動入力)	判定(自動入力)	⑧達成度	⑨実績値の達成・未達成要因	⑩事業の評価	担当課		
						指標	指標値	目標値	単位	目標年月									
5	拠点整備	オリンピックレガシーを生かした「田瀬湖ボート場」環境整備事業(スポーツ振興課)	<p><b>(背景)</b> ・2020年の東京オリンピック日本代表の事前合宿地として内定している。 ・毎年大学や高校等の合宿地として活用されているが、宿泊施設までの距離が遠く、合宿地としての利用が伸び悩んでいる。</p> <p><b>(事業の目的)</b> 国内外の代表クルーや大学、高校等の合宿所として活用やオリンピックレガシーを生かした大会開催や合宿誘致、更にはボートに限らずヨット、カヌーなどの体験を生かしたアクティビティの充実を図り、近隣市町村と連携しスポーツツーリズムなどを通じた観光ルート設定やイベント開催などによる新たな観光客の取り込みを推進する。</p> <p><b>(事業概要)</b> ヨットやカヌーなど市民のウォータースポーツに触れ合う場の創出のため、東和B&amp;G海洋センター及び田瀬湖ボート場の管理運営を行う。</p> <p><b>(具体的な取組: H29に事業完了)</b> (1) 建築基準法及び消防法上の用途変更(簡易宿泊所)に伴う改修 (2) 合宿所として機能向上に係る改修 ①エアコン設置 ②畳の表替え ③タイルカーペット敷き ④浴室設置 ⑤ガス給湯設備設置(既存重油ボイラー廃棄) ⑥トイレ洋式化 ⑦洗濯室設置(既存ボイラー室のボイラーを撤去し、洗濯室化) ⑧取り付け道路アスファルト舗装</p>	H29.5 事業開始 H30.3 事業完了	<p>○用途変更確認申請・艇庫改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工事設計業務委託料 2,592,000円</li> <li>艇庫改修工事管理業務委託料 864,000円</li> <li>電気工事 9,936,000円</li> <li>機械工事 24,300,000円</li> <li>建設工事 34,776,000円</li> </ul>		指標①	観光客入込数(万人)	217.7	221.5	万人	R4.3.31	100.0	45%	c	新型コロナウイルス感染症拡大のため、県外からの観光客の入込が減少した。	(成果) 新型コロナウイルス感染症拡大による影響はあったが、合宿機関の短縮、合宿期間中のPCR検査の実施等の感染予防対策を講じ、また、宿泊施設の協力を得て、東京2020オリンピックボート日本代表の事前合宿を実施できた。本事業によるオリンピックを契機とした施設整備による効果であると考えられる。	スポーツ振興課	
							指標②	東和B&G海洋センター利用者数(人)	8,800	10,000	人	R4.3.31	2,994	30%	c	D	新型コロナウイルス感染症拡大のため、4月12日からシーズン閉館の11月30日まで市民、市内団体のみの利用制限(一部例外あり)となったため、利用者は減少した。	(課題・今後の方向性) ボート競技会場として高い評価を得ていることから、ボート場としての機能をさらに高めるとともにウォータースポーツの拠点として、周知を図りながら、にぎわいの創出が課題であるため、新型コロナウイルス感染症終息後の施設活用について、市内外に広く周知するとともに、カヌー、ボート等のウォータースポーツ体験教室等を実施することや、ボート競技場として高い評価を得ていることを最大限活用し、大規模大会の誘致や合宿地として、日本代表、大学、社会人チームの誘致を図る。	
							指標③	施設利用収入(千円)	400	620	千円	R4.3.31	310	50%	c		新型コロナウイルス感染症拡大のため、施設利用に制限があったため、収入額が減少した。		
6	拠点整備	イーハトーブの四季を彩る「宮沢賢治童話村野外ステージ」整備事業(賢治まちづくり課)	<p><b>(背景)</b> ・宮沢賢治童話村の施設の一部である「野外ステージ」は6,000㎡の芝生広場に面し、周りを森林に囲まれ自然を休感できる場所であり、宮沢賢治関連イベントをはじめとする各種イベントで利用されている。 ・大規模イベント開催時には、仮設ステージの設置が必須となり、開催経費が増大するため、開催地として選択されにくい。</p> <p><b>(事業の目的)</b> 野外ステージを改修することで、荒天時の緊急退避場所としての活用が可能となるほか、屋根への音響設備の設置や大型スクリーンの設置が可能となり、近隣市町村と連携した郷土芸能公演による地域文化の発信や、今後国内外で開催される大規模スポーツ大会等のパブリックビューイングの実施など、宮沢賢治だけではなく多様な大規模イベント開催スペースとして活用しようとするものである。</p> <p><b>(事業概要)</b> 野外ステージの改修</p> <p><b>(具体的な取組: H29に事業完了)</b> 野外ステージを、荒天時の緊急退避場所として活用したり、屋根への音響設備の設置、大型スクリーンの設置が可能となるように改修する。</p>	H29.11 事業開始 H30.3 事業完了	<p>○野外ステージの概要</p> <p>所在地 宮沢賢治童話村(花巻市高松第26地割地内)</p> <p>構造 鉄骨造</p> <p>屋根 新設鉄骨4本、アルミたて樋付アーチ型</p> <p>軒裏 長尺ガルバリウムカラー鉄板葺き</p> <p>軒高 ステンレス加工張(1.5mm)</p> <p>軒高 7.4m(建物最高点9.3m)</p> <p>延床面積 98㎡</p> <p>床材質 木材(キシラデコール塗り仕上げ)</p>		指標①	イーハトーブフェスティバル来場者数(人/日)	2,100	2,500	人/日	R4.3.31	0	0%	c	D	新型コロナウイルス感染症の影響により、イーハトーブフェスティバルの中止を余儀なくされたことによる。	(成果) 新型コロナウイルス感染症による公共施設の利用制限や、他地域からの移動制限等の外的要因によって事業自体を中止しており、評価ができない。	賢治まちづくり課
							指標②	観光客入込数(万人)	222	222.4	万人	R4.3.31	109.9	49%	c		観光客入込数のR3実績値は109.9万人であり、R2実績値の108.8万人とほぼ同数であった。依然として、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものと思われる。	(課題・今後の方向性) 改修した野外ステージを有効に活用できるよう、感染症が縮小した際の活用方法を検討する必要があり、令和4年度は感染症対策を考慮しながら内容を工夫してイーハトーブフェスティバルを開催する予定である。また、イーハトーブフェスティバルとは別に、野外ステージを活用したイベントも予定している。	
8	拠点整備	南部杜氏の里から日本酒文化を発信する「いつでも行きたい」交流拠点「道の駅石鳥谷」の形成(石鳥谷総合支所地域振興課)	<p><b>(背景)</b> 道の駅石鳥谷の課題として、①道の駅構内の各施設が前面道路である国道4号の正面を向いておらず、視認性が悪いほか、施設間の回遊性が悪い、②駐車スペースが不足しており、老朽化している、③インバウンドの増加や個人旅行者の増加により、道の駅利用者のニーズが変化・多様化しているなかで、道の駅構内の各施設がこうしたニーズに対応できていないといったことが挙げられ、利用者が減少している。</p> <p><b>(事業の目的)</b> 国土交通省と市が連携・協力し、①南部杜氏の里の魅力発信と地域の憩い・交流の場の形成、②道の駅への視認性と分かりやすい進入動線の確保、③施設機能・配置や動線等の見直しによる利便性・回遊性の向上、④将来予測交通量に対応した駐車場の整備・トイレ器数の確保に取り組み、施設の利便性の向上と施設の一體的な活用を図る。</p> <p><b>(事業概要)</b> ・南部杜氏伝承館を曳家し、道の駅の前面道路である国道4号に対して、道の駅構内の各施設が正面を向くようにレイアウトを変え、施設の見通しを上げる。 ・南部杜氏の里の魅力発信として、南部杜氏伝承館内に試飲・販売ができるコーナーを新設するほか、多言語表記の充実や関係機関との連携によるインバウンドの誘客の推進を図るための改修実施設計を行う。 ・地産食材を活用したレストランであるりんどう亭と地域の特産品の販売を行う酒匠館が、道の駅の前面道路である国道4号に対して正面を向き、かつ現在の道の駅利用者のニーズに応じたサービスを提供を図るための改修の実施設計及び工事を行う。</p> <p><b>(具体的な取組)</b> ・道の駅「石鳥谷」内の南部杜氏伝承館の曳家等工事 ・酒匠館・りんどう亭大食堂の改修設計及び工事 ・南部杜氏伝承館の内部展示改修設計 ・南部杜氏伝承館の浄化槽の撤去 ・りんどう亭の天井・クロスの張替や屋根の塗装等</p>	R2事業開始 R2事業完了	<p>① 南部杜氏伝承館の曳家等工事・改修設計等 曳家等工事、同工事監理業務委託、出入口工事、展示改修設計、伝承館内の展示物搬出等を行った。</p> <p>② 酒匠館・りんどう亭大食堂改修設計等 酒匠館・りんどう亭大食堂の新設出入口や内部等の改修のための実施設計を行ったほか、りんどう亭大食堂の新設出入口や内装等改修工事を行った。</p> <p>③ 外構部の支障物撤去 南部杜氏伝承館の浄化槽撤去を行った。</p>		指標①	道の駅構内での各施設(南部杜氏伝承館、酒匠館、りんどう亭)での売り上げ高	134,923	134,923	千円	R7.3.31	56,680	42%	c	D	新型コロナウイルス感染症の影響による利用客の減少及び、酒匠館内装等改修工事に伴う休業等により利用者が減少したため。	(成果) 南部杜氏伝承館の曳家による移設やその他支障物を除去し、視認性や回遊性を向上させる施設配置が進んだほか、りんどう亭大食堂の内装改修等を実施し、利便性や機能性の向上が期待される。	石鳥谷総合支所地域振興課
							指標②	道の駅構内での各施設(南部杜氏伝承館、酒匠館、りんどう亭)の購買客数	85,121	85,121	人	R7.3.31	41,667	49%	c		新型コロナウイルス感染症の影響による利用客の減少及び、酒匠館内装等改修工事に伴う休業等により利用者が減少したため。	(課題・今後の方向性) 物産等販売を行う酒匠館の内装改修のほか、屋外イベントにも活用できる広場や駐車場の整備を進め、エリア全体の施設再編整備の着実な推進とリニューアルに相応しい運営体制を確立する必要があるが、国(国土交通省)が整備する施設もあるため、スケジュールのほかエリア全体の調和も含め、国と連携し円滑に事業を推進する。	
							指標③	石鳥谷地域内のイベント観光客入込数	46,366	46,366	人	R7.3.31	0	0%	c		新型コロナウイルス感染症対策として、地域内のイベントが全て開催中止となったため。		